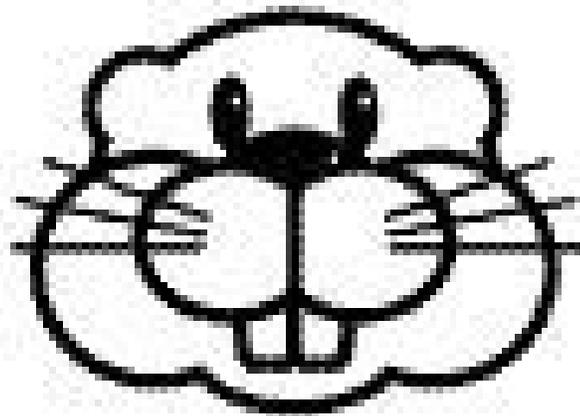


ビーバー

安全な刈払作業のために



山田機械工業株式会社

本社 〒651-2404 神戸市西区岩岡町古郷1534

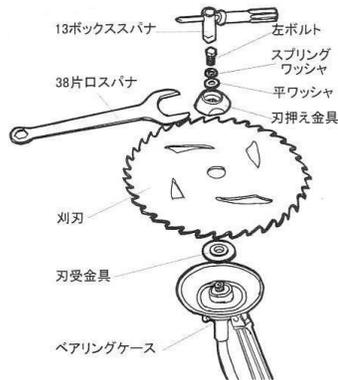
TEL : (078) 967-1481 FAX : (078) 967-3090

e-mail : yamada-h@beaver-group.co.jp

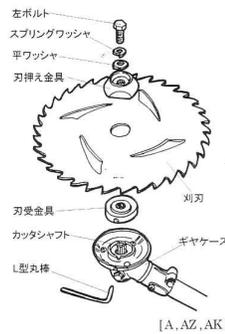
1) ご使用の前に

1. **ご使用の前に必ず『取扱説明書』をお読み下さい。**
2. 『取扱説明書』に従って**正しく『ビーバー』刈払機を組立てて下さい。**
3. 【刈刃】、【巻付防止カバー】、【セフティプレート】の取付けは**特に注意**して下さい。

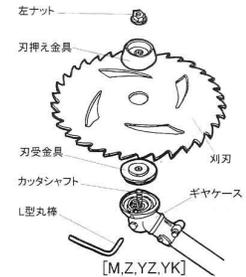
【刈刃】の取付け



背負式桿



ショルダー式桿 (Aタイプ)



ショルダー式桿 (Yタイプ)

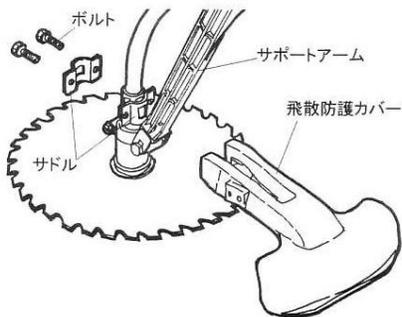
【巻付防止カバー】の取付け

- ① 刃受金具と刃押えを外し、巻付防止カバーをベアリングケース、またはギヤケースにはめ込む。
- ② 刈刃とのすき間が2～3mmになるようタッピンネジを締めて固定する。

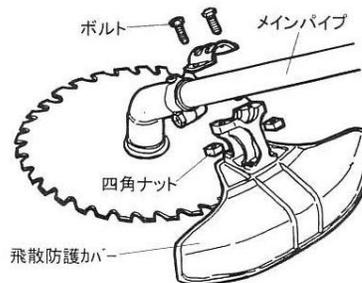


(注) 巻付防止カバーと刈刃は絶対に接触しないように取り付けてください。刈刃に負荷がかかり、フレキシシャフト破損の原因になります。

【セフティプレート】の取付け



背負共通桿用



背負固定桿用



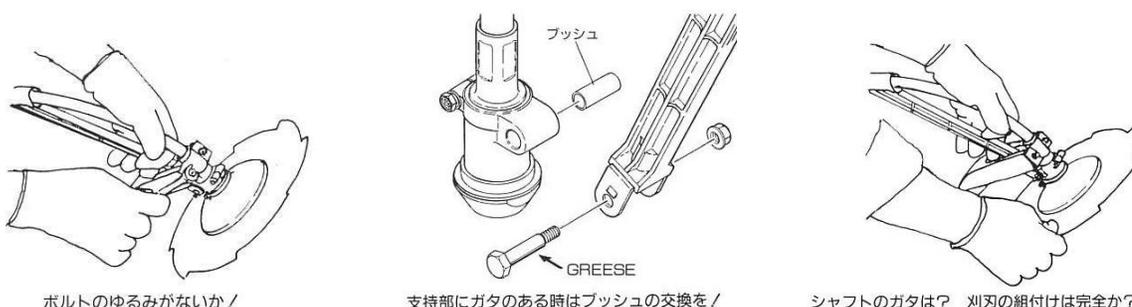
ショルダー用

4. ご使用の前には下記の点検を**必ず**行なって下さい。

(p2)

- ① 各部のボルト・ナット・シャフトに**緩みやガタ**が無いかな。

特に桿先端部の**ボルト・シャフト及び支持部に異常**がみられる時は、ボルトをしっかりと締めこむか、または交換をして下さい。そのまま使用されますと**事故の原因**になることがあります。



- ② 刈刃、セフティプレート、及びベアリング部に草などが巻きついていないか。

また、土や泥が付着して固まっていないか。

そのまま使用されますと刃の回転が落ちて、**作業能率が悪く**なります。

なお、草などが巻きついたり、土や泥が固まっている時は、**必ずエンジンを停止**してから取除いて下さい。回転させたまま取除こうとされますと**事故の原因**になります。

- ③ エアクリーナに“ほこり”や“ごみ”などが付着していないか。

クリーナの汚れは空気の通りを悪くして、エンジンに負担をかけ、何よりも**燃料の浪費**の原因になります。

- ④ エンジンの冷却風の通路に草や塵などが詰まっていないか。

空冷式エンジンのため、詰まっていると**オーバーヒート (過熱)**の原因になります。

- ⑤ 刈刃に「亀裂」、「欠け」、「曲り」などが無いかな。

そのまま使用されますと異常な振動が発生し、刈刃が欠けて飛ぶことがあり、**事故の原因**になります。

- ⑥ 燃料漏れは無いかな。

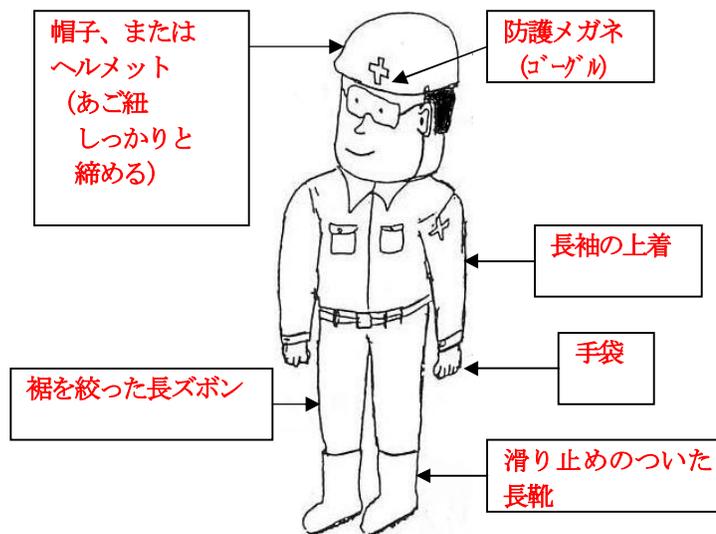
燃料が漏れている時は、布で**必ず**拭取ってください。そのまま使用されますと熱により**火災を起こす原因**になります。

2) 服装

(p3)

作業中の危険から身を守るために、以下の手順に従って**服装を整えて**下さい。

1. 作業衣は長袖の上着に、
裾を絞った長ズボンを着用。
2. 帽子、またはヘルメットを着用。
(あご紐の有るものが望ましい)
3. 防護メガネ (ゴーグル) を着用
4. 手袋を着用
5. 滑り止めのついた長靴を着用



3) 始動と停止

1. エンジンの始動と停止は『取扱説明書』の手順に従って、**正しく**行なって下さい。
2. エンジンを始動させる時は、周囲に人がいないか (特に桿部や刈刃の側)、刈刃が地面や物に触れていないかを**必ず**確認してから始動させて下さい。刈刃が始動と同時に回転することがあり、**事故の原因**になります。

4) 刈払機の持ち方

1. 背負式エンジンの背負い方



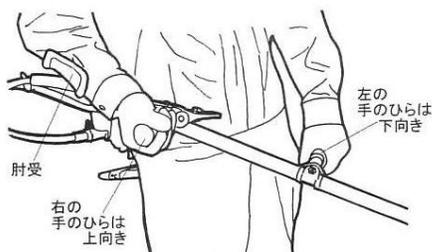
- ①左手でメインパイプ中間部を持ち
右手で本機の背負バンド右を持って



- ②背負バンド右を右肩に掛ける。

- ③背当マットが腰の上になるよう
背負バンドの長さを調節する。

- ④背中でエンジンが安定するよう
に胸バンドを適度に締め付ける。

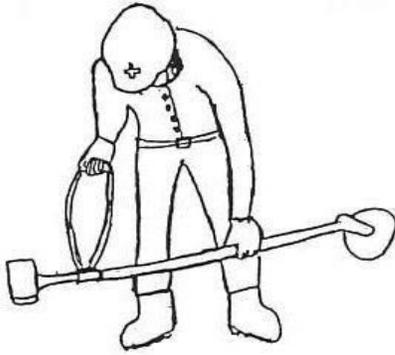


- ⑤ビーバーグリップ
左の手のひらを下に右の手のひらは上に向けてグリップを握り、右肘は肘受にのせる。その他はグリップやハンドルの種類に応じた方法で握る。

(注) 背負う時は周りに人のいないことを確認し、必ず刃が停止してから背負って下さい。刈刃が回転したまま背負うと、周りの物に触れた場合、刃が大きく跳ねられたり、刈刃が欠けて飛ぶことがあります、**たいへん危険です。**周りに人がいると人身事故を起こす恐れがあります。

2. 肩掛式刈払機の持ち方

(p4)



- ①右手で肩掛バンドを持ち、左手で刈払機を持ち上げる。
- ②右手に持った肩掛バンドを左肩からたすき掛けに通す。
- ③グリップやハンドルに応じた方法で握り、刈払機を支える。

(注) 刈刃が停止していることを必ず確認してから持ち上げて下さい。



5) 作業の基本姿勢

1. 作業開始の姿勢

- ①足は左右に 60~70 cm開き、右足を前にして、右足から前に進むようにします。

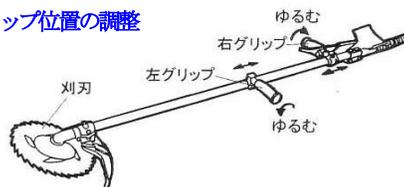
刈刃は左に 30 度傾けた状態で右から左に向かって振ります。

刈刃いっぱい刈ろうとせず、刈刃の左半分刈るようにして下さい。



- ②背負式ビバーグリップはグリップ位置と刃角度調整で最適な姿勢を得ることができます。

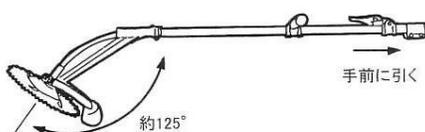
グリップ位置の調整



左手グリップを左に回して緩めることにより、固定位置を変更できます。身長や好みによって位置を変更して下さい。位置が決まれば必ずグリップを右に回して締め付け、固定して下さい。

なお、固定桿は右手グリップも調整できます。

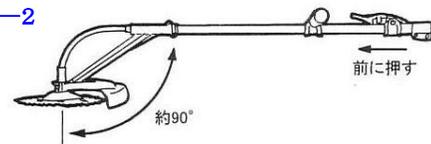
刃角度変更-1



共通桿は右手グリップを左に回して緩め手前に引くと、刈刃の回転軸の角度はメインパイプに対して約 125 度となります。平坦地や傾斜に向かって登るような作業に適しています。

(ビバーでは肩掛式刃角度可変型刈払機も用意しています。)

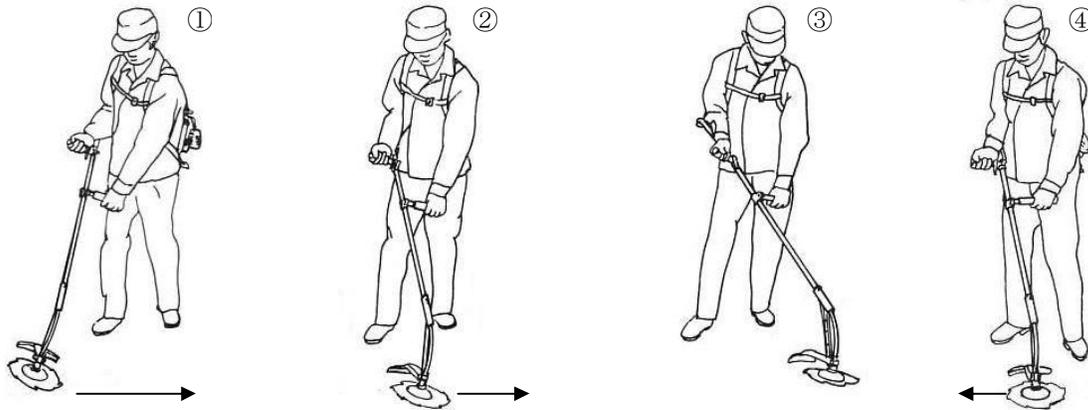
刃角度変更-2



右手グリップを左に回して緩め前に押すと、刈刃の回転軸の角度はメインパイプに対して約 90 度になります。畦の上から下に向かっての作業に適しています。斜面の角度に合わせて刃角度を調整して下さい。

作業開始姿勢からの足の運び方は安全な刈払作業を行なう上で特に重要

です。以下をよくお読みいただき、習熟して下さい。



① 刃を左に約 30 度傾けた状態で左方向へ約 2m、円を描かないように払う。

③まで来れば左足を約 15 cm 前進させながら桿を右方向へ戻す。桿が作業開始位置まで戻れば右足を約 15 cm 前進させて①からの動作を繰り返す

(注) 左足を右足より前に出すと刈刃で左足を切る恐れがあります。

絶対に左足から前進しないで下さい。

6) 刈払作業の注意事項

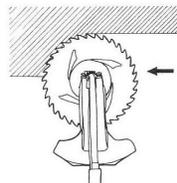
1. 刈取幅

刈刃いっぱいには刈ろうとせずに**刈刃の左前半分**で刈るようにして下さい。

2. 刈取方向

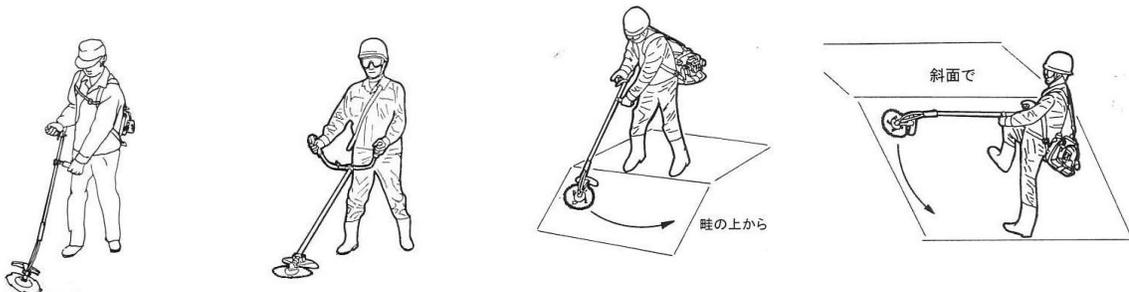
どのような場合でも刈払対象物を刈刃の左側で切るように、**必ず右から左に向かって**切って下さい。これは刈刃が左回転なので、刈刃の右側に硬い物が当たると、刈刃が急速度で作業者に跳ね返ってくることもあり**非常に危険**だからです。

刈刃の左前半分で
右からひだりへ
刈取る。



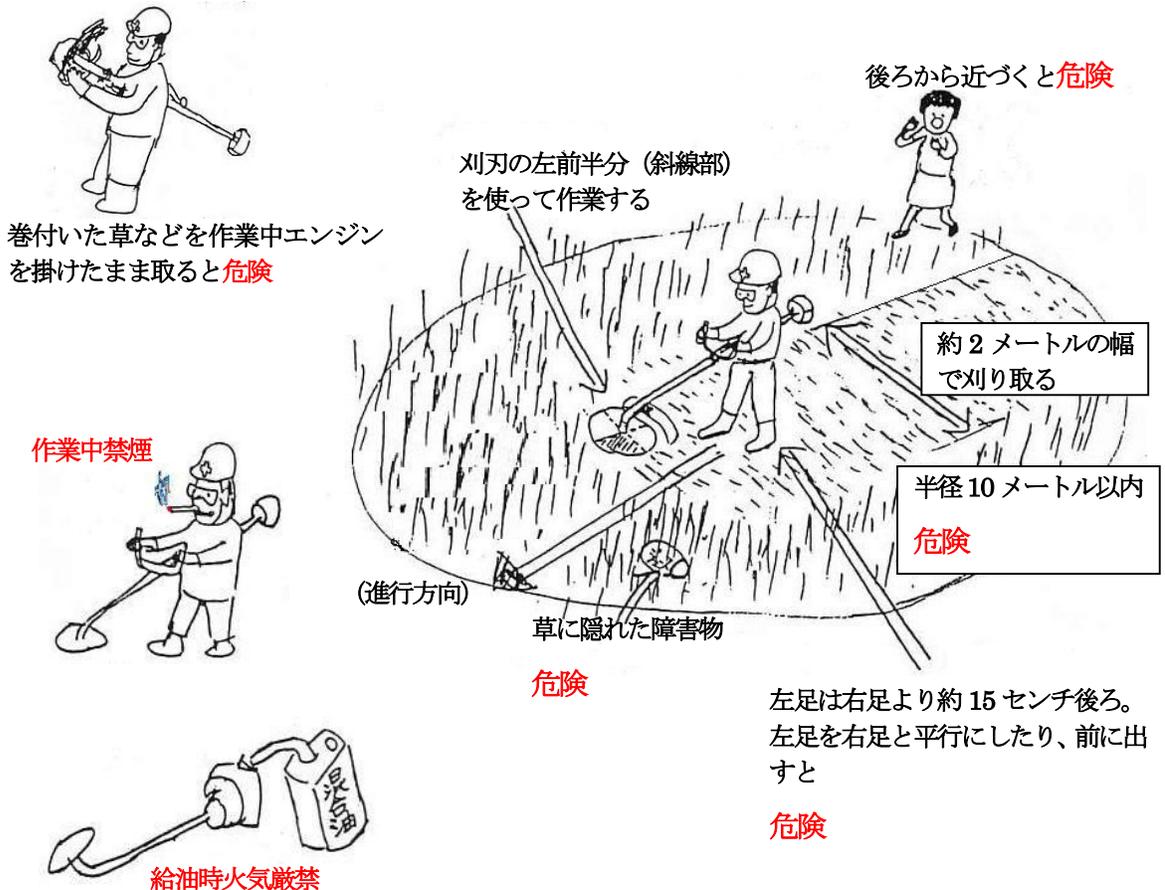
3. 足の運び

何度も繰り返しますが、どんな場合でも**必ず右足を左足よりも約 15cm 前**に出して**作業**して下さい。



これまで『ビーバー』に関する注意事項を述べてきましたが、実際の刈払作業には他にもさまざまな危険が伴います。しかし、事前の注意によって危険を排除し、安全に刈払作業を行なうことができます。

- ① 半径 10 メートル以内に人がいないことを必ず確認しながら作業して下さい。
小石などが飛散することがあり、大変危険です。特別な事情で、どうしても作業者に近づかなければならない時には、「木切れを投げる」等の事前に決めておいた合図をして、作業者がエンジンを止めたことを確認した上で、必ず作業者の前から近づいて下さい。作業者の後ろや左右（特に左）からは絶対に近寄ってははいけません。刈払機が、作業者の体の動きに伴って左右に振れ、近寄った人を傷つける恐れがあります。
- ② 作業中、草などに隠れて見えない障害物に刈刃が当たって大変危険なことがありますので、進行方向の障害物は事前に取除いて下さい。
草などの背丈が高く、障害物が有るかどうか判別できない時は、いったん高刈をして障害物を見易くしてから取除いて下さい。
- ③ 作業は、前述の「刈進み方法（足の運び）」に従って下さい。
- ④ 刈刃は、前述の「刈取幅」と「刈取方向」に従って使用して下さい。
刈刃いっぱいを使うと、刈残しがあったり、刈った草がきれいに揃わず飛散してしまいます。
- ⑤ 作業中、刈刃などに草が巻付いたり、土や泥がついた場合は、必ずエンジンを止めてから取除いて下さい。
- ⑥ 作業中、及び給油時には絶対にタバコは吸わないで下さい。
特に給油時は、タバコ以外の火気にも注意して下さい。
- ⑦ 作業にかかる前に、『取扱説明書』を読んで下さい。



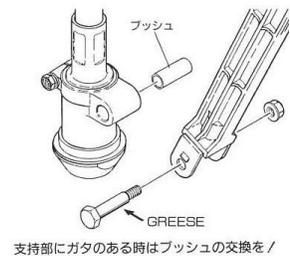
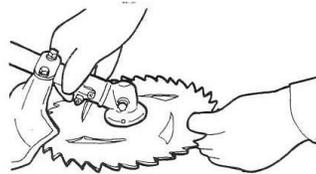
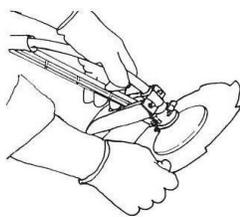
7) 作業終了時の点検と手入れ

(p7)

作業終了時の点検と手入れは、次回の作業時に安全に『ビーバー刈払機』をお使いいただく為に
欠かしてはならないものです。下記の手順に従って、ご使用の度に点検と手入れを行なって下さい。その際、**必ずエンジンが止まっていること**を確認して下さい。

1. 点検

- ① 刈刃部のシャフト、ボルト、支持部にガタや緩みがないか確認し、異常がある場合は増し締め、または交換して下さい。
- ② 刈刃やセフティプレートに草やビニールが巻付いていないか確認して下さい。また、巻付防止カバーや刃受金具の中に巻付いた草やビニールが入っていないかも確認して下さい。
(巻付防止カバーや刃受金具の中に巻付いた草やビニールが入ったまま使用すると、回転が上がらなかつたり、ベアリングの異常磨耗などの故障につながり**危険**です。)

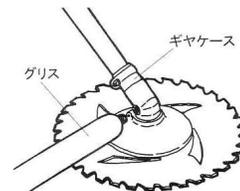
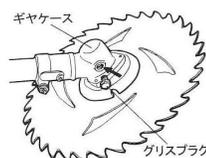


- ③ 刈刃に「チップ飛び」「亀裂」「欠け」「曲がり」などが無いか特に注意して点検して下さい。
異常のある場合は**必ず新品と交換**して下さい。

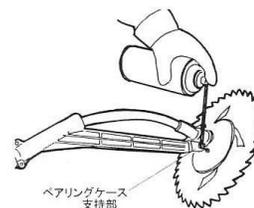


2. 手入れ

- ① 背負式刈払機では使用 20 時間毎にフレキシブルシャフトを、後部ジャバラのソケットから 1メートル程度引き抜いて、グリスを塗布して下さい。
グリスが不足すると、振動が大きくなったり、ジャバラが加熱して**被覆が破損**したり、**フレキシブルシャフトが切れる**ことがあります。
- ② 使用 25 時間毎にギヤケースのグリスプラグを外して**グリスを補充**して下さい。



- ③ 刃角度可変型桿では作業終了毎に、ベアリングケース支持部の可動部分に**注油**して下さい。



- ④ エンジンのエアクリーナや冷却風の通り道に付着したほこりやゴミをていねいに取除いて下さい。ゴミの付着は**オーバーヒートの原因**になります。

点検部位	点検内容	処置
刈刃	・取付ボルトの緩み ・割れ、曲がり ・刃先磨耗	・増し締め ・交換 ・交換
カッタシャフト	・ガタ	・ベアリング交換
ギヤケース	・取付ボルト緩み	・増し締め
刃受金具	・内部に草などの混入	・清掃
前ジャバラ	・被覆破損	・交換
セフティプレート (飛散防護カバー)	・締付ボルトの緩み ・破損	・増し締め ・交換
グリップ	・ナットの緩み ・破損、曲がり	・増し締め ・交換
ストップスイッチ	・コードの抜け ・コードの断線	・接続 ・交換
後部ジャバラ	・被覆破損	・交換
エアクリーナ	・目づまり	・清掃
冷却風の通路	・草、ほこりの付着	・清掃
燃料タンク	・傷による漏れ ・取付ネジの緩み ・キャップからの漏れ ・燃料パイプに傷	・交換 ・増し締め ・パッキン交換 ・交換
スロットルワイヤ	・動き不良 ・遊び不良	・交換 ・調整

4. 長期保管

- ① 清掃、手入れと注油を行なった後、各部を点検して下さい。
また、**錆防止**の為に金属部分に**油を塗付**して下さい。
- ② 燃料タンクより燃料を出した後、エンジンを低速で自然に止まるまで運転して、キャブレタ内の燃料を使い切して下さい。燃料タンク内に燃料を長期間入れておくと、オイル分がキャブレタやフィルタ内で**変質**し、目づまりによる始動不良など**故障の原因**になります。

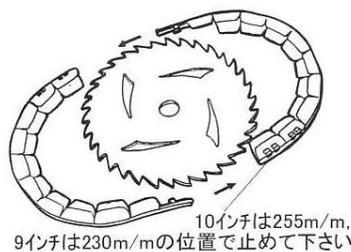


余った燃料は、光を通さない金属容器などに入れて**冷暗所で保管**して下さい。
古い燃料で、**変色**していたり**異臭**がする時、あるいはその燃料を使うと**排気ガスに異臭**がある時は使用を避けて下さい。エンジンが始動しなかったり、始動しても高速回転にならず、**不調や故障の原因**になることがあります。

- ③ 点火プラグを外し、2サイクル・エンジンオイルを数滴シリンダ内に注入しリコイルスタータを数回引いてシリンダ内にオイルを塗り広げ、圧縮のあるところで止めて下さい。

④ 移動時カバーを刈刃に取付け、チリやほこりが付着しないよう保管して下さい。

(p 9)



⑤ 背負式では、**ジャバラを曲げずに**、真っ直ぐに伸ばして保管して下さい。

⑥ **湿気のない場所で**、**塵やほこりが付着しないよう**に保管して下さい。

8) 終りに

以上で《安全な刈払作業》の説明は終了ですが、この冊子と同時に、お買い求めくださいました

『ビーバー』刈払機に付属の『取扱説明書』を合わせてよくお読み下さい。

お読みになって、疑問点や不明点、あるいはご質問やご意見などがございましたら、弊社まで
ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

ご連絡は下記本社までお願い申し上げます。

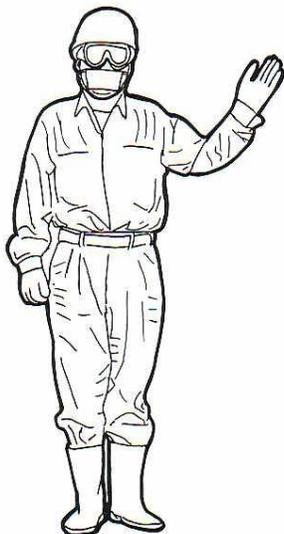
〒651-2404

兵庫県神戸市西区岩岡町古郷1534

山田機械工業株式会社

TEL : (078) 967-1481 FAX : (078) 967-3090

eメール : yamada-h@beaver-group.co.jp



今後とも引き続きビーバーをご愛顧賜ります
ようお願い申し上げます。

